

Sculpture 彫刻

古代人は祈りの心を込めて岩肌に人間や動物などを彫り込みました。彫刻専攻では、立体的な造形力を身につけるのはもちろん、社会の営みの中で人々を支える「美術」とは何かを考える力を身につけます。



Lacquer Art 漆芸

漆芸は、縄文時代から続く日本を象徴する工芸分野。漆芸専攻では色漆や金・銀粉、貝等の素材を使った伝統工芸としての技術や知識の習得を通して、未来へ漆芸を繋げると共に、生徒の豊かな感性を伸ばしています。

専攻のポリシー（特に育成を目指す資質・能力）

- 自分自身と空間、社会との関係性を深く見つめ、考える力
- 造形の魅力を感じ取り、自ら探究していく感性と行動力

使用する主な素材・機材等

粘土 / 木 / 石膏 / 水性樹脂（ジェスモナイト） / ノミ / ノコギリ / 木づち / 土練機 / シュロ縄 / ヘラ など

専攻のポリシー（特に育成を目指す資質・能力）

- 伝統を継承する中で革新を求め、進化を探究する行動力
- 社会との関係を見つめ、新しい工芸の価値観を構築する発想力

使用する主な素材・技法等

漆 / 金粉 / 銀粉 / 樹脂 / 螺鈿 / サフェイサー / エアブラシ / デジタル機器（3Dプリンター等） / 材木 / 蒔絵 など



専攻インタビュー

彫刻専攻
令和5年度卒業生
Nodoka Nakano

作品づくりを通して、自分が造ろうと思うものをより立体的に理解し、段階を踏んで一つ一つの作業を丁寧に進めていく重要性を知りました。将来は教員になり、美術は上手い下手という基準で判断するのではなく、自分を表現する手段の一つであり楽しいものなのだと子ども達に伝えたいです。

木彫

木の素材を生かして抽象的な形を表現する課題。当初は抽象表現の作品テーマを考えることに対して苦手意識がありました。しかし先生の「身の回りの物や言葉からテーマを連想してみては」との言葉を実践してみたところ、自身の視野の狭さに気づき、アイデアが浮かぶようになり抽象表現に対する苦手意識がなくなりました。また制作を始めた際、完成図がきちんとイメージできておらず、彫り進め方が分からなくなりました。その経験から、作品を多面から見た構図をしっかり頭でイメージし制作に取り掛かる大切さを学びました。

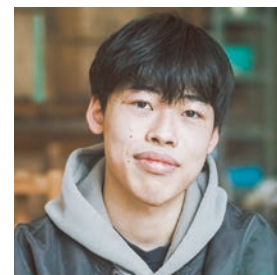


自由課題（美工作品展）

美工作品展で展示した「おもてとオモテ」という作品です。鏡や写真などを通して自分の顔を見た時のちょっとした違和感から「どれが自分の本当の顔なんだろう」と疑問に思い、制作を始めました。対称となる2匹の猫を見比べながら、同一の存在に見えるよう細かく調節し彫り進めました。細部までこだわらないと違和感が出てきてしまうため、作品を離れて見たり、友達や先生に確認してもらうなど、作品を客観視することを大事にしました。この制作で、デッサンの時に培った全体を見ながら細部を描き進める技術が大いに活かされたと感じます。



客観視することや、2年次に学んだ頭の中で作品を多面から見た構図をしっかりイメージしてから制作に取り掛かることの大切さを改めて実感し、高校の集大成となる作品になりました。



専攻インタビュー

漆芸専攻
3年生
Kotetsu Yoshitsugu

漆芸専攻では、漆そのものはもちろんですが、漆以外の3Dプリンターやデザインなどの技術や知識を学ぶ機会も多く、それにより視野が広がり、「様々な物事は関係し合っている」ことに気付きました。将来は生活プロダクト領域に進み、使用者がつい使いたくなるような製品を作っていきたいです。

丸型パネル

黒さに透き通るような奥行き感が現れるのが漆芸の研ぎ出し技法の魅力。奥から手前にぬっと現れるようなこの空気感を表現したいと思いハシビロコウを選びました。漆は、絵の具とは違いタッチが残らずマットになるので、シャープな線を表現するような緻密な作業が難しく、何度も試行錯誤を重ねました。しかしそのことにより筆遣いや質感の表現のし方を勉強することができ、デッサンや他の制作につながっています。また漆芸は一個の作品に対してたくさんの時間をかけるので忍耐力や集中力が身につきました。



立体オブジェ

左の丸型パネルの課題をテーマに、今度は抽象立体にする課題で、私はアクセサリーとして表現しました。この課題では漆の制作だけではなく、機能性や作品を美しく見せるためにはどうしたらよいか、ということも考えました。私自身アクセサリーという分野に初めて挑戦したので、こういったアクセサリーはどういうパーツが必要なのかな、などということを調べたり、作品が映えるようにするには、どんな色やセットを描いたらよいかなど、自分で考える必要がありました。新しい分野にも恐れることなく自分で踏み入る必要もあるんだというのを学びました。

